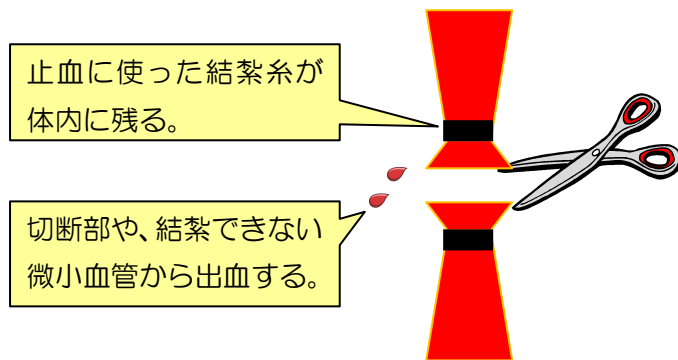


当院では 超音波メスを導入しています。

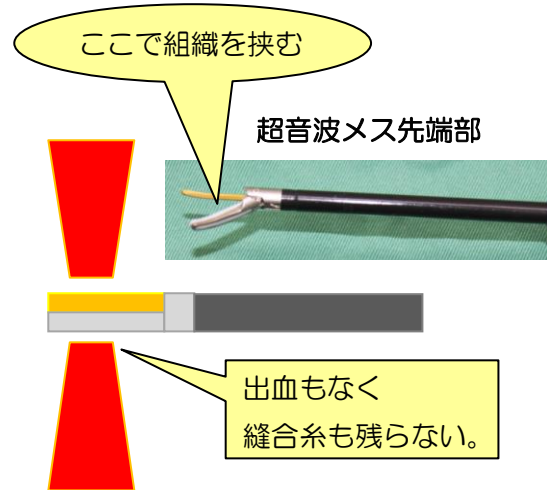
当院で使用している超音波メスは、
超音波で組織を変性させながら切ることができます。

★特徴★

- ①結紮糸を使わずに結紮できる。
- ②出血させずに切ることができる。
- ③結紮と切断を同時におこなうことができる。



《結紮糸を使った結紮》



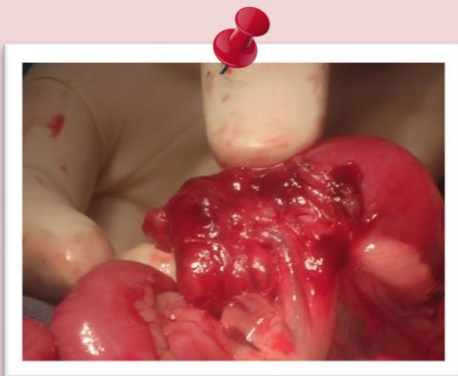
《超音波メスを使った結紮》

症例 1

縫合糸反応性肉芽腫



他院での避妊手術の後、体内に残った
結紮糸に反応して出来たしこりです。
超音波メスは結紮糸を使わないため、
発生リスクを減らせます。
Mダックスなど、アレルギー体質の
動物には大変有効です。



症例 2

脾臓腫瘍



脾臓は血管が多い臓器です。
超音波メスを使うことで、
巨大な腫瘍を摘出する際にも出血量を
最小限に抑えることができました。
また、止血をしながら切るので、
手術時間も大幅に短縮されました。

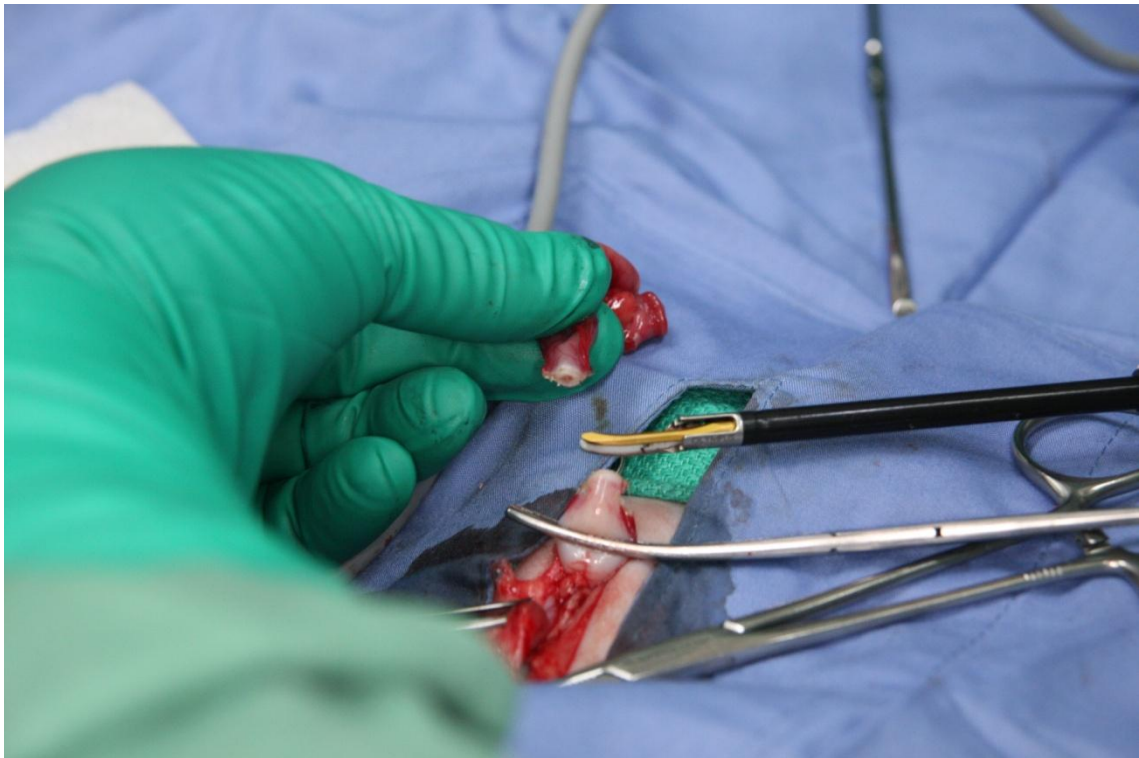


全ての手術に超音波メスを使用しているわけではありません。
また、強固な結紮が必要な場合や皮膚を縫い閉じる際には、適切な糸を使用しています。

超音波メスによる避妊手術

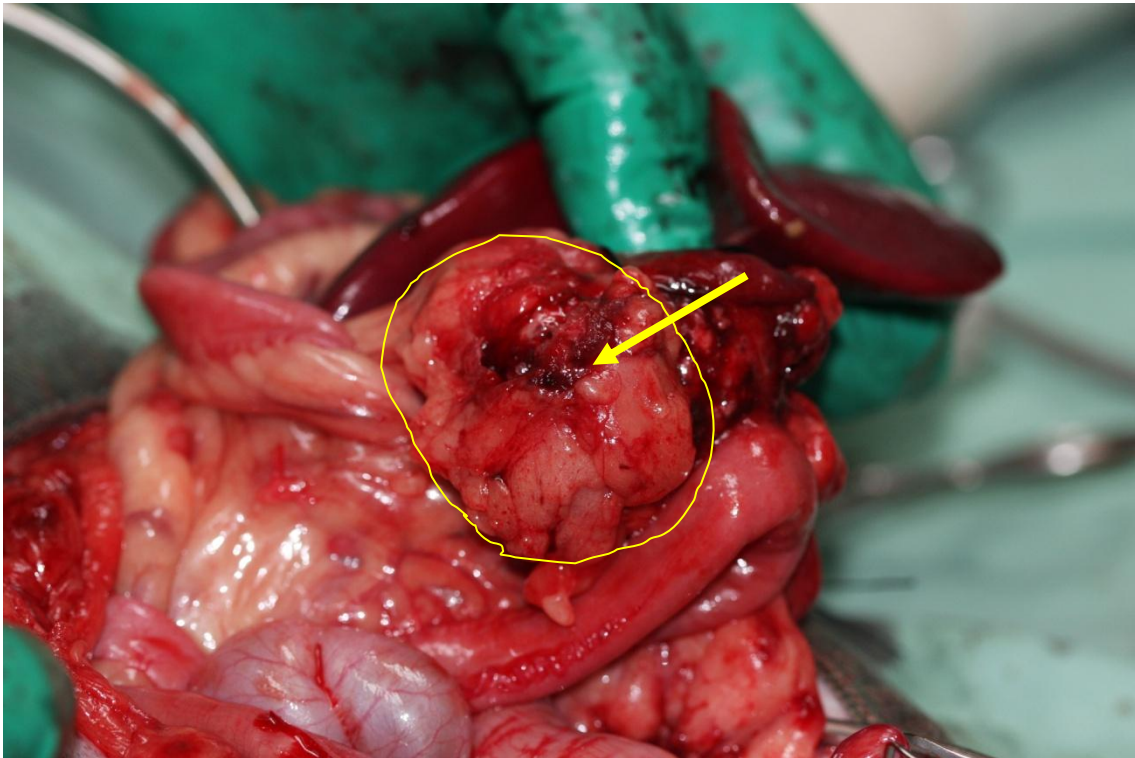


卵巣動静脈を超音波メスによって止血切断しているところです。



子宮頸管部を同じく切断したところです。結紮糸は使用していません。

これは別なワンちゃん（ミニチュアダックス）の写真です。



これは卵巣動静脈を結紮した糸に反応して出来た無菌結節性脂肪織炎の症例です。腸管や脾臓の一部を巻き込んでいます。このような症例は多発するわけではありませんが最近報告されてきています。

超音波メスによる手術では結紮糸を体内に残しませんので、このよう脂肪織炎の発症の可能性を減らすことができます。